

1. 学校評価総括

建学の理念	「心身ともに健康で、使命感を持つ、誠実な人間を育成する」	
教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明朗で知性溢れる人の育成 2. 不屈の精神をもって、使命を全うする人の育成 3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人の育成 4. この世に生をうけた幸福を知る人の育成 	
これまでの成果と課題	<p>コロナ禍を明けて、前年度よりも多くの行事を実施することができた。宿泊行事については、中学1年、2年の林間・臨海学校、中学3年の研修旅行、高校2年の修学旅行では、安全面での対策を講じながら実施することができた。また、文化発表会は中学部と高等部を分けず全体で行った。入場者の制限なく実施し、多くの保護者や学校に興味関心をもつ受験生に参加していただくことができ、有意義な行事となった。陸上競技大会においても、コロナ禍以前の従来の形式にもどし、中学生女子によるダンスや男子によるソーラン節など発表の場を設けることができた。一部のプログラムを編成し直し、保護者にも参加していただける種目や全生徒の中で100m最速を競う種目を設けるなど、企画として工夫を凝らすよう努めた。その他にも、海外からの留学生との交流会や韓国研修旅行、教育講演会なども再開した。これらの行事の実施については、保護者の方のご理解とご協力があったこととあり、改めて感謝申し上げるところである。</p> <p>また、グループ活動を行う中学3年のナレッジキャピタルや高校1年の京都での社会見学なども実施した。人間関係の構築に苦勞している生徒も一部見られたが、他者との関わりをもつことで、協働的に物事を進めていく力を育むことができていた。他者理解を苦手とする生徒も見受けられるため、コミュニケーション能力の育成やそのための自己理解を深めていく場を設けることが重要であり、これからの課題となる。</p> <p>学校自治においては、生徒の代表である生徒会が中心となって行われており、個々の力を発揮しながら学校規則の変革に積極的に取り組んでいる。校外では生徒の列車マナーについてご意見をいただくこともあり、6年間通い続ける生徒の人間教育をする学園として、継続して取り組むべき課題であり、生徒が安心して学園生活を送ることができるよう教育実践をしなければいけない。</p>	
	具体的目標	総合評価
国際人を育てる教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 留学制度の充実 2. 進路指導の充実 3. 学力をつける授業の充実 4. 国際交流制度の充実 5. 卒業生・在校生の満足度向上 6. 施設・設備の充実 	<p>コロナ禍前の従来通りの学園生活に近づけていけるように、学園として教育活動の実施方法等を検討し努力を重ねた。中学部での宿泊行事はすべて実施することができた。少しずつではあるが、コロナ禍以前の学校の形に近づきつつあるように感じられた。集団行動を通して培われるべき他者への配慮や、互いに協力し合いながら課題に取り組む協働性、リーダーシップについては、学びがまだ深まっていない部分もあるが、少しずつ改善されてきている。何よりも行事を楽しむ子どもたちの笑顔を見る機会が従前のように増えてきていることが学園として嬉しい。関係各所と協力をしながら、以前と同様の形式で各行事が実施できるように検討を重ねている。</p> <p>学園では現在ICT教育に力を注ぐべく、教員研修の充実や新たな企業との提携を模索しながら、体制を整えている。DXハイスクール加速化推進事業の採択校として、探究活動やICT教育をさらに促進していきたい。高等部では授業の中でGCP(グローバル探究プログラム)を実施し、子どもたちが自ら課題を見つけ、どのように解決していくかを模索する機会をつくることができた。また、シンガポールの企業とオンラインで課題解決型の企画を実施することもできた。学業面では、低学年からハイレベルな内容に興味を持つ生徒も多い一方で、基礎基本の復習が必要な生徒もいるため、ICTを用いた個別学習のしくみを取り入れた。</p> <p>次年度以降も、学校行事を安全に実施すること、生徒の社会性の醸成に取り組むこと、学力分布の二極化現象に対処することを課題としていく。また、手段としてICTを活用することも含めて、教員の労働時間の削減と研修の充実にも取り組むたい。</p>
入学志願者・入学者の安定確保	<ol style="list-style-type: none"> 1. 六年一貫教育の充実のための内部進学生支援の充実 2. 外部児童・生徒募集の充実 	
教育の意識改革・行動改革の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科会議の充実 2. 教員組織の改革 3. 学校評価の導入 4. 教員評価制度の導入と研修の充実 	